

1 調査研究方針

1.1 調査研究目的

大阪湾においては、港内遊覧事業を含めて多数の小型旅客船が運航されているほか、多くの遊漁船や瀬渡船も運航されており、死傷者を伴う事故事例も散見されるところ、令和7年度に開催される予定の大阪・関西万博に向けて、新たな旅客船事業も計画されている。

これら船舶の運航実態と海難の発生状況、運航者の安全運航に関する意識レベルを調査検証するとともに、現状における小型旅客船事業による船舶安全運航上の留意点を抽出することにより航行船舶の海難防止に寄与することを目的とする。

注： 本調査研究における小型旅客船、遊漁船及び瀬渡船は総トン数20トン未満の小型船舶を対象とする。

1.2 調査研究に至る背景等

令和4年4月23日に発生した知床遊覧船沈没事故では、乗客乗員計26名全員が死亡又は行方不明という大惨事となり、国土交通省海事局では有識者等による「知床遊覧船事故対策検討委員会」を設置し、小型船舶を使用する旅客輸送における安全対策を総合的に検討し、当該検討結果を踏まえて令和5年5月12日に、旅客の輸送の用に供する小型船舶の乗組員について、船舶が航行する海域の特性に応じた操船に関する教育訓練等を義務付ける等の内容を盛り込んだ「海上運送法等の一部を改正する法律」が公布され、令和5年6月11日及び7月1日に施行されている。

一方、阪神港大阪区夢洲には、東側に国際戦略港湾の主要岸壁である夢洲岸壁が所在し大型コンテナ船が就航しているほか、夢洲北側の北航路は主に総トン数500トン未満の船舶が航行している。また、夢洲西側及び南側護岸は瀬渡船による釣人の瀬渡しが行われている。

さらに、阪神港大阪区夢洲においては、令和7年度に大阪・関西万博の開催が予定されており、日本国際博覧会来場者輸送対策協議会が令和5年5月に発表した「来場者輸送具体方針（アクションプラン）第2版」によると、船舶運航による水上アクセスルートの整備が計画され、河川航路を含む新たな12航路が検討されている。

このような状況を踏まえ、阪神港大阪区夢洲周辺海域における航行船舶実態や瀬渡船の運航状況、遊漁船の活動状況を調査するとともに、最新のAISデータ等を解析して船舶交通流を把握したうえで、大阪・関西万博に向けて計画されている新たな旅客船事業を見すえた船舶安全運航上の留意点を抽出し、検討すべく調査研究をすることとした。

1.3 調査研究名

「大阪湾における小型旅客船及び遊漁船並びに瀬渡船の運航実態と海難防止に関する調査研究」とする。

1.4 調査対象海域

本調査研究における調査研究対象海域（以下、「対象海域」という。）を図 1.4.1 に示す。

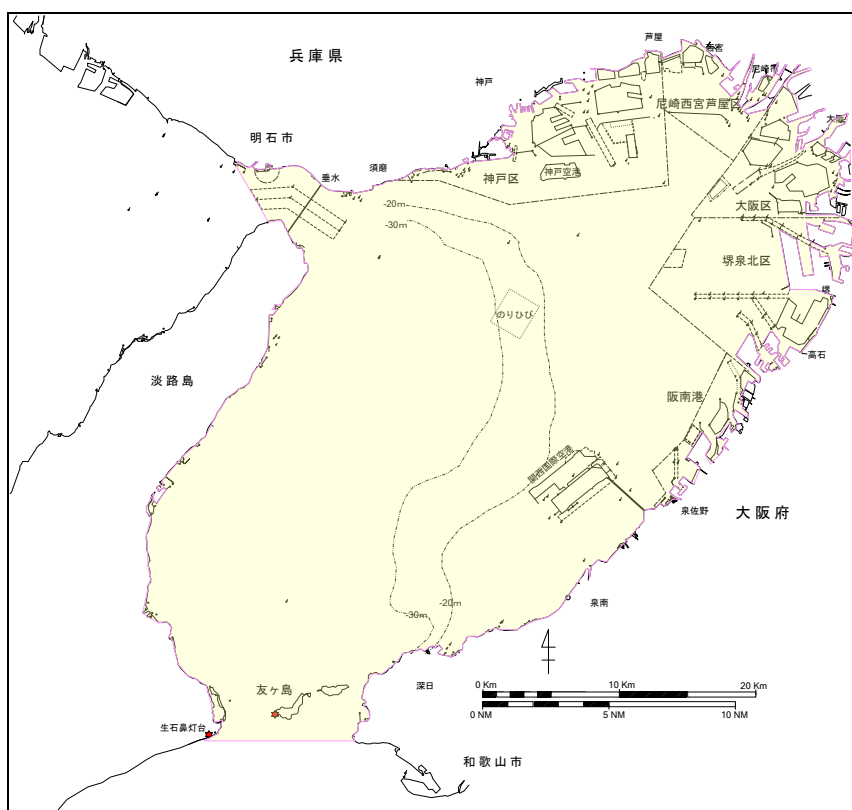


図 1.4.1 対象海域図

1.5 調査研究項目

1.5.1 現況把握

- (1) 自然環境・航行環境等
- (2) 海難発生状況（対象海域における衝突、乗揚海難）
- (3) 対象海域における AIS データによる船舶交通実態の把握
- (4) 小型旅客船の運航状況
- (5) 瀬渡船、遊漁船の活動状況
- (6) 日本国際博覧会に向けた新たな水上アクセスルートの把握

1.5.2 課題の抽出と留意点の検討

- (1) 海難発生状況の分析
- (2) AIS データ解析結果の評価
船種別、時間帯別船舶航行経路の分析
- (3) 新たに運航される水上アクセスが現状の船舶交通流に及ぼすリスク評価
- (4) 課題の抽出
- (5) 留意点の検討

1.6 調査研究の方法

1.6.1 委員会の設置

学識経験者、海事实務者及び関係官公庁職員等からなる「大阪湾における小型旅客船及び遊漁船並びに瀬渡船の運航実態と海難防止に関する調査研究委員会」を設置する。

1.6.2 検討スケジュール

- (1) 第1回委員会
 - ① 調査研究方針について
 - ② 自然環境・航行環境について
 - ③ 海難の発生状況について
 - ④ AIS データによる船舶交通実態の解析実施方案について
 - ⑤ 小型旅客船の運航状況及び瀬渡船並びに遊漁船の活動状況について
 - ⑥ 新たに運航される水上アクセスが現状の船舶交通流に及ぼすリスクの評価手法について
- (2) 第2回委員会
 - ① 海難の分析結果について
 - ② AIS データによる船舶交通実態の解析結果について
 - ③ 新たに運航される水上アクセスが現状の船舶交通流に及ぼすリスクの評価結果について
 - ④ 課題の抽出について
- (3) 第3回委員会
 - ① 留意点について
 - ② 報告書の構成について

1.7 調査研究の流れ

調査研究フローを図 1.7.1 に示す。

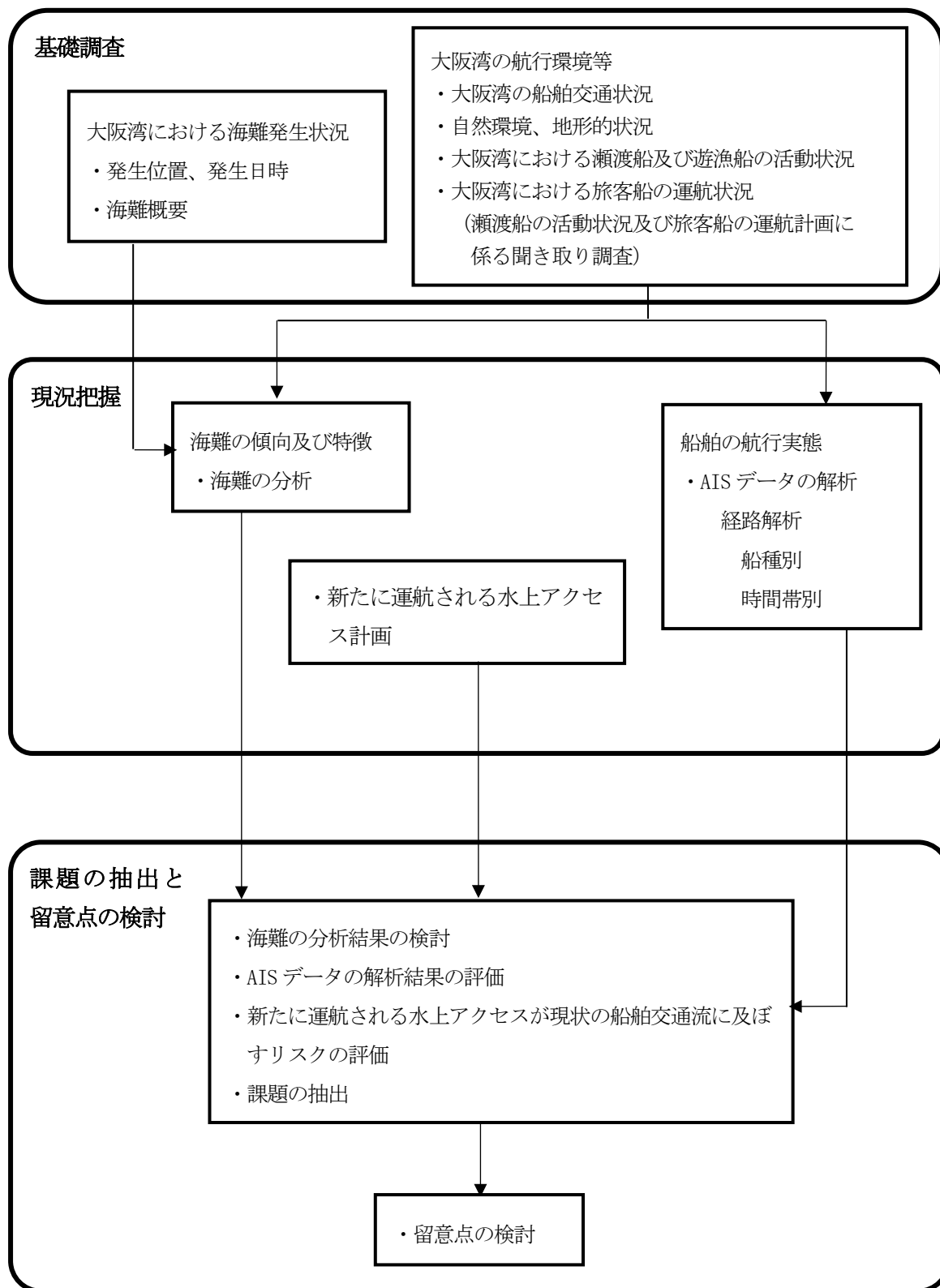


図 1.7.1 調査検討フロー

1.8 委員会の開催状況

1.8.1 第1回委員会

- 1 日 時 令和5年10月6日(金) 13:30~15:30
- 2 場 所 三宮コンベンションセンター 5階 506~508号会議室
- 3 議 題
 - (1) 調査研究方針について
 - (2) 自然環境及び航行環境並びに海難発生状況について
 - (3) AISデータ解析方針及び聞き取り調査実施方案について
 - (4) 新たに運航される水上アクセスが現状の船舶交通流に及ぼすリスク評価について

1.8.2 第2回委員会

- 1 日 時 令和6年2月9日(金) 14:00~16:15
- 2 場 所 三宮コンベンションセンター 5階 504~505号会議室
- 3 議 題
 - (1) 海難の分析結果について
 - (2) AISデータによる船舶交通実態の解析結果について
 - (3) 新たに運航される水上アクセスが現状の船舶交通流に及ぼすリスクの評価結果について
 - (4) 課題の抽出について

1.8.3 第3回委員会

- 1 日 時 令和6年3月21日(金) 13:30~14:40
- 2 場 所 三宮コンベンションセンター 5階 502~503号会議室
- 3 議 題
 - (1) 船舶運航上の留意点について
 - (2) 報告書の構成について